

編集後記

京都に移り住んで5年以上が経つが自他共に京都人とは認められていない。俗に京都十代と言われ、十代に渡って京都に住まないと京都人ではないそうだ。加えて「京都に移り住んで…」と述べたが、現在住んでいる京都市伏見区は京都人には京都として認められていないから「京都市に移り住んで」が正確なところなのかもしれない。京都とは正確には洛中（上京区、中京区、下京区）のみを指す。このような京都の閉鎖感がよく知られているところであり、昨年後半に出版された『京都ぎらい』（井上章一著、朝日新書）が大きな話題を呼び増刷を重ねている。その京都市でプラズマ・核融合に関する主要な会議がこれから数年間にわたり予定されているため、本学会会員の方々も京都市を訪れる機会があると思われる。そこで、京都市出張・観光に関して幾つかアドバイスをしたい。京都市の春の桜、夏の祇園祭、秋の紅葉の季節はホテルが取りづらく（かつ高く）数ヶ月前の予約が必要なのは周知と思われるが、ここ数年、外国人観光客の急激な増加に伴い京都市内の主要ホテルの年平均充足率が90%前後（休日は満室）となっている。す

なわち、京都市観光のオフシーズンはなくなったと言えよう。とにかく早くホテルを予約してほしい。なお、電車で10分の隣町、大津市に宿を取るというのも一つの手である。京都市内の移動では公共交通機関が便利であるが、それらではSuicaなどの関西圏外のICカードが利用できる。また、各交通機関やそれら共通の一日乗車券があるので、1日に3、4回以上利用される方にはお得である。なお、多数の路線が設定されており便利な路線バスだが（ただし運転が荒いことが多い…）、お祭りによる通行止めで運行休止となったり、基本的に遅延しているのでネットでバス位置（最多の市バスではポケロケ）や運休情報を確認することを勧める。以前、嵐山、金閣寺（鹿苑寺）、御所、そして清水寺を1日で観たいから案内してほしいと言われたことがあるが無理である。地図を見ていただきたい。そして各地区に集中して観光することを勧める。最後に、皆様が上洛された際には京都以外の伏見（稲荷大社や酒蔵）や宇治（平等院など）にも来られることを期待いたします。

（山本 聡）

プラズマ・核融合学会役員

会 長	小森 彰夫	副 会 長	永津 雅章（推薦委員長：研究助成、男女共同参画委員長）	吉田 善章（推薦委員長：学会賞）
常務理事	室賀 健夫（総務委員長）			
理 事	浅野 克彦	安藤 晃	上田 良夫	
	内野喜一郎	小野 靖	甲斐 俊也（財務委員長）	
	草間 義紀（広報委員長）	久保 博孝	佐々木浩一（企画委員長）	
	白神 宏之（支部・地区研究連絡会委員長）	白谷 正治（研究部会連絡委員長）	豊田 浩孝（編集委員長）	
	波多野雄治	福山 淳（年会運営委員長）		
監 事	市村 真	森田 純子		

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：豊田浩孝(名大) 副委員長：波多野雄治(富山大)

エディタ：金子俊郎(東北大)、坂本瑞樹(筑波大)、中村祐司(京大)、長友英夫(阪大)、小西哲之(京大) 佐々木浩一(北大)

編集委員：安堂正己(量研機構)、石澤明宏(京大)、稲垣 滋(九大)、太田貴之(名城大)、大西直文(東北大)、小田昭紀(千葉工大)、小田卓司(ソウル国立大)、陰山 聡(神戸大)、加道雅孝(量研機構)、川崎仁晴(佐世保高専)、齋藤和史(宇都宮大)、清水昭博(核融合研)、白石裕之(大同大)、須田善行(豊橋技科大)、高橋俊樹(群馬大)、近田拓未(静岡大)、仲野友英(量研機構)、沼田龍介(兵庫県立大)、比村治彦(京都工繊大)、松岡彩子(JAXA)、宮澤順一(核融合研)、森 芳孝(光産業創成大学院大)、森本泰臣(日揮)、八木重郎(核融合研)、八柳祐一(静岡大)、山本 聡(京大)、余語覚文(阪大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第92巻第6号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

印刷 株式会社荒川印刷

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

2016年（平成28年）6月25日

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/> 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。